

安全データシート

作成：2019年6月15日

改定：2022年4月1日

整理番号 **POWERTORE PI-602**

1. 化学物質等および会社情報

1-1 製品

製品名 ①パワトレ PI-602
使用分野 ②塗料ミスト処理（廃水処理）
製品内容 ③塗料ミスト処理剤（凝集沈殿剤）

1-2 供給者情報

会社名 ①株式会社PI
住 所 ②愛知県豊田市陣中町 1-22-6
担当部門 ③薬品事業部 PIケミストリー
販売者 ④株式会社PI
電話番号 ⑤0565-77-0106
FAX 番号 ⑥0565-77-5075
緊急連絡先 ⑦0575-77-0106

+

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	分類対象外
GHS ラベル要素	なし
注意喚起語	なし
健康有害性	なし
危険有害性情報	なし
分類されていない	なし
他の危険有害性	

3. 組成および成分情報

- ◆物質の特性 ◎混合物
- ◆化学・一般名称 ◎無機
- ◆臭い ◎わずか
- ◆外観 ◎薄黄緑色の粉体
- ◆有害成分 ◎なし
- ◆発がん性物質 ◎なし

成分	CAS	既存化学物質番号	配合率
モンモリロナイト	1302-78-9	非該当	非開示
植物性抽出液	無し	非該当	非開示

- ◆国連番号 : なし
- ◆官報公示整理番号 : 既存化学物質 1-193、1-25 などの混合物

4. 応急措置

- ◆眼に入った場合 ◎直ちに多量の清浄な流水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用している場合は極力外すこと。まぶたを指で拵げ、同時に眼球をあらゆる方向に動かさせる。痛みのため眼を擦らせないこと。そしてなるべく速やかに眼科医の手当てを受けさせること。
- ◆皮膚に付着した場合 ◎石鹼水で完全に洗い流す。汚れた服は直ぐに脱ぐ。汚染された服は洗濯してから使用すること。炎症が続く場合は直ちに医師の手当てを受ける。
- ◆吸入した場合 ◎うがいをさせる。鼻やのど、肺に炎症がある場合には汚染された場所から被災者を移動させ、必要な応急措置をとる。
直ちに医師の手当てを受ける。
- ◆飲み込んだ場合 ◎水で口内を良く洗浄する。水や牛乳を飲ませて吐き出させる。
直ちに医師の手当てを受ける。
- ◆医師に対する連絡 ◎特別な指示はない。

5. 火災時の措置

- ◆異常火災・爆発の危険 ◎通常の処理では火災、爆発の危険はなし。
- ◆消防作業時 ◎必要に応じて時給式呼吸装置を装着すること。
- ◆消化剤 ◎特に指定なし。
- ◆特有の危険有害性 ◎情報なし
- ◆危険な燃焼物質 ◎成分組成から予測できる燃焼物質はなし。
- ◆特別な危険性 ◎情報なし

6. 漏出時の措置

- ◆人体に対する予防措置 ◎関係者以外は安全な場所に避難させること。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ風上に避難させること。保護具を使用すること。
- ◆環境に対する予防措置 ◎安全を確認してから、もれやこぼれを止めること。表流水または下水システムに排水しないこと。
- ◆漏出時の措置 ◎掃いてからシャベル等を使って適切な容器に入れ処分すること。製品を排水施設に流してはならない。床等の滑りがなくなるまで水洗すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ◆取扱い ◎皮膚、眼、そして衣類との接触を避けること。
取扱後は手をよく洗うこと。
- ◆貯蔵・保管 ◎低温で換気の良い場所で容器の口をしっかりと閉めておくこと。
- ◆混触禁止物質 ◎情報なし
- ◆保管最高温度 ◎データなし

8. 暴露防止措置及び保護措置

- ◆設備対策 ◎大気中に粉塵、ミスト、蒸気が生じるような場合は、局所排気装置を用いること。
- ◆適切な衛生対策 ◎正しい産業衛生と安全規定に従って取り扱うこと。
- ◆保護具 ◎保護手袋、保護メガネを着用すること。
化学飛沫用のゴーグル及び企画にあった顔面保護具を着用すること。
安全メガネを着用すること。顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

- ◆皮膚及び身体保護具 ◎顔面用の保護具を着用すること。
- ◆衛生対策 ◎取り扱い後はよく手を洗うこと

9. 物理的及び化学的性質

- ◆外観 ◎薄黄緑色粉末
- ◆臭い ◎無臭
- ◆引火点 ◎なし
- ◆自然発火温度 ◎自然発火しない
- ◆爆発特性 ◎非爆発性
- ◆密度 ◎1.05g/cm³
- ◆溶解性 ◎水可溶
- ◆溶解性含有率 ◎データなし
- ◆水分含有率 ◎データなし

10. 安定性及び反応性

- ◆安定性 ◎推奨の保管条件下では安定。
- ◆避けるべき条件 ◎熱、炎、火花
- ◆混触危険物質 ◎情報なし
- ◆危険有害性のある
 分解生成物 ◎通常の状態では分解しない。
- ◆危険有害反応性の
 可能性 ◎情報なし

11. 有害性情報

- ◆急性毒性 ◎データなし
- ◆製品情報 ◎データなし
- ◆皮膚刺激性 ◎皮膚刺激性はない。
- ◆眼の刺激 ◎目に入ると強い刺激性がある。
- ◆吸入した場合 ◎呼吸器官に刺激を起こすことがある。
- ◆慢性毒性 ◎データなし
- ◆感作性 ◎感作性は知られていない。
- ◆発がん性 ◎本製品の含有成分に発がん性情報は知られていない。
- ◆特定標的臓器毒性 ◎なし

12. 環境影響情報

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| ◆生態毒性 | ◎環境に危険有害である物質や分解できないと知られている物質を含まない。 |
| ◆残留性と分解性 | ◎データなし |
| ◆物理的及び化学的 | ◎データなし |
| ◆移動性 | ◎データなし |
| ◆生分解性 | ◎データなし |
| ◆生物蓄積性 | ◎データなし |
| ◆土壌中の移動性 | ◎データなし |
| ◆その他の環境情報 | ◎データなし |

13. 廃棄上の注意

- | | |
|---------|---|
| ◆残留余廃棄物 | ◎薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。 |
| ◆汚染した包装 | ◎空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分すること。
関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 |

14. 輸送上の注意

- | | |
|---------------------|--|
| ◆国際規則 | ◎航空輸送は ICAO/IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従うこと。 |
| ◆国連分類 | ◎国連の分類基準に該当しない。 |
| ◆国連番号 | ◎国連の分類基準に該当しない。 |
| ◆国内規制 | ◎陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従うこと。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従うこと。 |
| ◆輸送の特定の
安全対策及び条件 | ◎運搬に際しては、容器に漏れのないこと及び所定の表示のあることを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。 |

15. 適用法令

◆毒性及び劇物取締法	◎該当しない
◆労働安全衛生法	◎該当しない
◆海洋汚染防止法	◎該当しない
◆水質汚濁防止法	◎該当しない
◆航空法	◎該当しない
◆危規則	◎該当しない
◆消防法	◎該当しない
◆化学物質管理促進 PRTR 法	◎該当物質なし
◆GHS 分類区分	◎該当物質なし

16. その他の情報

◆参考文献	◎GHSモデルMSDS「結晶質－石英」(安全衛生情報センター)
	◎GHS分類結果 (ID807 結晶質－石英) (GHS関係省庁連絡会議)

記載内容は、現時点で入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも完全な保証をなす物ではありませんので、取扱いには十分に注意して下さい。

記載してある注意事項等は、通常の実施を前提としたもので、特別な取扱いをする場合はさらに用途や用法に適した安全対策を実施した上で取扱いをお願い致します。